

一般財団法人 日本ビジネス技能検定協会 主催

第49回

医療事務(医科)能力検定試験

1級

令和4年2月施行

制限時間 90分

受験番号 _____

氏名 _____

注意事項

1. 解答用紙の決められた欄に、試験地、受験番号、氏名を記入してください。
2. 答えはすべて解答用紙の決められた欄に記入してください。
3. 制限時間は90分で、100点満点です。
4. この試験問題の解答は、令和3年4月1日現在施行されている法令等により答えてください。
5. この試験問題は診療報酬明細書（レセプト）作成のために創作したもので、医学的事実に基づいたものではありません。
6. 診療報酬点数表等の参考資料の使用を認めます。
7. 試験問題の内容についての質問には一切お答えしません。
8. この試験問題のページ数は、「1～8」です。

解答は解答用紙に記入のこと

【個別問題】

第1問 次の文中の（ ）に当てはまる語句または数字を、下記の解答群から選び、解答欄に記号で記入しなさい。

感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律の目的は、感染症の発生の（ ① ）と、その（ ② ）の防止であり、この法律で定めた感染症の区分に基づき（ ③ ）義務や医療機関の指定などの規定を設けている。

エボラ出血熱やペストなどの感染力及び重篤化の危険性が高い感染症を（ ④ ）感染症として、その患者の入院は特定感染症指定医療機関や（ ⑤ ）感染症指定医療機関が担当することとされている。重症急性呼吸器症候群である（ ⑥ ）や、中東呼吸器症候群である MERS など感染力や重篤化の危険性が比較的高い感染症を（ ⑦ ）感染症として、指定の医療機関が感染者の治療にあたることとされている。

二類感染症の中でも、過去日本では国民病とも言われた（ ⑧ ）の患者については、（ ⑧ ）指定医療機関が担当することとされている。この感染患者に対する公費負担医療は、一般患者に対する医療としての（ ⑨ ）と、入院勧告を受けた患者に対する医療である（ ⑩ ）の2つの制度がある。

解答群

- | | | | | |
|-------|--------|-------|-------------|-----------|
| a. 感染 | b. 第一種 | c. 一類 | d. SARS | e. 適正医療 |
| f. 予防 | g. 第二種 | h. 二類 | i. 結核 | j. 公衆衛生関係 |
| k. 承認 | l. まん延 | m. 三類 | n. A型肝炎 | o. 社会福祉関係 |
| p. 届出 | q. 危険性 | r. 四類 | s. COVID-19 | t. 命令入所 |

第2問 次の診療報酬の算定方法についての文章を読み、正しいものを○、誤っているものを×とした場合、その組み合わせとして正しいものを一つ選び、解答欄に記号で記入しなさい。

- ① ア 医師並びに看護師、准看護師及び看護補助者の員数は、医療法の定める標準の95%を満たしていれば療養環境加算を算定できる。
イ データ提出加算の算定において、提出するデータの作成は月単位で行うものとし、作成されたデータには月の初日から末日までの診療に係るデータが全て含まれていなければならない。
ウ 初診料において、時間外加算の特例を算定する場合には、時間外加算又は夜間・早朝等加算は算定しない。
エ 一般病棟の入院患者の外泊期間中の入院料等については、入院基本料の基本点数の20%を算定する。

(組み合わせ)

	ア	イ	ウ	エ
a	×	○	×	○
b	×	○	○	×
c	○	×	○	○
d	○	×	○	×
e	○	○	×	○

- ② ア 胸部に対して1.5テスラの機器によるMRI撮影を同一月に2回実施した場合には、2回目のMRI撮影の所定点数は900点で算定する。
イ コンタクトレンズ検査料を算定する場合には、初診料及び再診料に規定する夜間・早朝等加算は算定できない。
ウ 病理標本作製料に掲げられていない病理標本作製であって簡単な病理標本作製の費用は、最も近似する病理標本作製の算定方法により算定する。
エ 検体検査判断料の算定において、実施した検査が属する区分が2以上にわたる場合は、該当する区分の判断料を合算した点数を算定する。

(組み合わせ)

	ア	イ	ウ	エ
a	○	×	×	○
b	○	×	○	×
c	×	○	×	×
d	○	○	○	×
e	×	○	×	○

- ③ ア 外来患者に対して、治療を目的としてうがい薬のみを投薬した場合には、調剤料、処方料、薬剤料、調剤技術基本料を算定することができる。
- イ 鎖骨下動脈に対して行う動脈注射は、内臓の場合の155点を算定する。
- ウ 複数の診療科を標榜する保険医療機関において、2以上の診療科で異なる医師が処方した場合は、それぞれの処方につき処方箋料を算定することができる。
- エ 注射に当たって、麻薬を使用した場合は、麻薬注射加算として注射の手技料に5点の加算ができる。

(組み合わせ)

	ア	イ	ウ	エ
a	○	×	○	○
b	○	○	×	×
c	×	×	×	○
d	×	○	×	×
e	×	○	○	×

- ④ ア 鼻洗浄は、基本診療料に含まれるものであり、鼻処置を算定することはできない。
- イ 超音波ネブライザーにおいて、酸素療法を併せて行った場合には、酸素吸入の所定点数を合わせて算定できる。
- ウ 選択帝王切開を予定した場合であっても、母体及び胎児の状態により緊急に帝王切開となった場合は、帝王切開術の緊急帝王切開により算定する。
- エ 神経系・頭蓋の手術において神経内視鏡を使用した場合には、通常の内視鏡と異なり、神経内視鏡に係る費用を手術の所定点数とは別に算定できる。

(組み合わせ)

	ア	イ	ウ	エ
a	○	○	×	×
b	×	○	×	×
c	○	○	○	×
d	×	×	○	○
e	○	×	×	○

【総合問題】

問題 次の資料（Ⅰ～Ⅳ）を基にして、令和4年1月分の診療報酬明細書を作成しなさい。

資料Ⅰ

1. 施設の概要等

一般病院（外科、整形外科、小児科、消化器科、循環器科、泌尿器科、産婦人科
放射線科、麻酔科）

病床数 一般病床 299 床

一部負担金の徴収方法 定率制

2. 診療時間

月曜日～土曜日 9:00～17:00 日曜日・祝日 休診

3. 職員の状況

医師数は医療法標準を満たしているが、標準を超えてはいない。

薬剤師数及び看護職員（看護師及び准看護師）数は医療法標準を満たしている。

管理栄養士2名、麻酔科医3名、病理診断医2名、画像診断医2名が常勤している。

4. 所在地

千葉県 成田市（3級地）

5. 届出等

地域一般入院料 1

平均在院日数 23 日

看護師比率 70%

診療録管理体制加算 2

療養環境加算

医療安全対策加算 2

感染防止対策加算 2

入院時食事療養（Ⅰ）

画像診断管理加算 2

検体検査管理加算（Ⅱ）

麻酔管理料（Ⅰ）

マルチスライス CT（16 列以上 64 列未満）

6. その他

1 月診療分については、手術前医学管理料及び手術後医学管理料は算定しない。

検査は全て当該保険医療機関内にて行った。

入院診療計画を策定し、院内感染防止対策、医療安全管理体制、褥瘡対策、
栄養管理体制がとられている。

医事会計システムは電算化されている。

資料Ⅱ

健康保険被保険者証					被扶養者氏名	性別	生年月日 (明大昭平令)	続柄	保険者印
記号		101	番号	68292	令和 3 年 4 月 1 日交付				
被 保 険 者	氏 名	新山 勝		男	新山 京子	女	平 3. 6. 9	妻	印
	生年月日	平成 2 年 5 月 10 日			*以下余白*				
	住 所	省 略							
	資格取得 年 月 日	省 略							
事業所	所在地	省 略							
	名 称	省 略							
保 険 者	所在地	省 略							
	保険者番号	06131817							

資料Ⅲ

診 療 録

公費負担者番号									保険者番号	0	6	1	3	1	8	1	7
公費負担医療の受給者番号									被保険者証 記号・番号	101 ・ 68292							
受 診 者	氏 名	新山 京子						被保険者氏名	新山 勝								
	生年月日	明・大・昭・ $\text{\textcircled{平}}$ ・令3年6月9日				男・ $\text{\textcircled{女}}$		資格取得	省 略								
	住 所	省 略						事業所名称	省 略								
	職 業	省 略		被保険者 との続柄		妻		保険者名称	省 略								
傷 病 名		職 務	開 始		終 了		転 帰										
(主) 大腸憩室炎		上・外	令和 4年 1月 27日		令和 年 月 日		治ゆ・死亡・中止										
		上・外	令和 年 月 日		令和 年 月 日		治ゆ・死亡・中止										
		上・外	令和 年 月 日		令和 年 月 日		治ゆ・死亡・中止										
既往症・原因・主要症状・経過等									処方・手術・処置等								
<p>4. 1. 27 (木)</p> <p>下腹部痛により受診</p> <p>軽度の発熱あり BT 37.1℃</p> <p>CT (16列マルチ)、大腸造影実施</p> <p>CT、X-Pともに画像診断医の読影</p> <p>(詳細は別紙読影文書を参照)</p> <p>大腸憩室炎と診断、緊急入院、明日 OP</p> <p>入院診療計画書策定、文書交付・患者説明済</p> <p>麻酔科医による麻酔前回診 問題なし</p> <p>明日の手術に備え、本日より禁食</p>									<p>4. 1. 27</p> <p>U-検</p> <p>B-ESR、末梢血液一般</p> <p>B-CRP</p> <p>腹部 CT (画像記録用フィルム 六×4)</p> <p>大腸造影 (デジタル撮影)</p> <p>X-D、X-P (画像記録用フィルム 六×2)</p> <p>注腸</p> <p>ハ[®]リト[®] P 94.6% 200g</p> <p>ECG (12)</p> <p>B-ABO、Rh (D)</p> <p>B-AST、ALT、LD、CK、ALP、TP、Na、Cl</p> <p>B-HBs 抗原 (定性)、HCV 抗体 (定性)</p>								

既往症・原因・主要症状・経過等	処方・手術・処置等
<p>4.1.28 (金)</p> <p>引き続き禁食</p> <p>麻酔科医による麻酔施術</p> <p>OP 11:45～</p>	<p>4.1.28</p> <p>前処置</p> <p>エフト[®] 1A</p> <p>閉鎖循環式全身麻酔 5「ロ」 (11:30～13:30)</p> <p>液化酸素 (CE) 1,200L</p> <p>笑気 700g</p> <p>ラボ[®]ナル 500mg</p> <p>セボ[®]フレン 75mL</p> <p>結腸憩室摘出術</p> <p>術中 DIV</p> <p>ラクテック注 500mL 1袋</p> <p>リンコシ 300mg 1V</p>
<p>4.1.29 (土)</p> <p>経過良好</p> <p>夕食から常食</p> <p>栄養管理計画書作成</p> <p>麻酔科医による麻酔後回診 問題なし</p>	<p>4.1.29</p> <p>DIV</p> <p>ラクテック注 500mL 1袋</p> <p>リンコシ 300mg 1V</p> <p>術後創傷処置 (2)</p>
<p>4.1.30 (日)</p> <p>経過良好、引き続き経過観察</p> <p>常食</p>	<p>4.1.30</p> <p>術後創傷処置 (2)</p> <p>U-検</p> <p>B-末梢血液一般</p>
<p>4.1.31 (月)</p> <p>経過良好</p> <p>明後日、退院予定</p> <p>常食</p>	<p>4.1.31</p> <p>DIV</p> <p>ラクテック注 500mL 1袋</p> <p>リンコシ 300mg 1V</p> <p>術後創傷処置 (2)</p>

資料IV

薬 価 基 準

	品 名	規格・単位	薬価 (円)
【内用薬】	バリトップP	94.6%10g	14.60
【注射薬】	エフェド	4%1mL1 管	94.00
	ラクテック注	500mL1 袋	204.00
	ラボナール注射用 0.5g	500mg1 管	1,002.00
	リンコシン注射液 300mg	300mg1mL1 瓶	261.00
【外用薬】	笑気 [小池]	1g	3.20
	セボフレン吸入麻酔液	1mL	45.90
【その他】	酸素 (液化酸素CE)	1L	0.19

第49回 医療事務（医科）能力検定試験1級 解答用紙

試験地	受験番号	氏名	得点

【個別問題】

第1問

①	②	③	④	⑤
⑥	⑦	⑧	⑨	⑩

第2問

①	②	③	④

【総合問題】

診療報酬明細書
(医科入院)

都道府
県番号

医療機関コード

1	1 社・国	3 後期	1 単	1 本	7 高入一
医科	2 公費	4 退職	2 2 併	3 3 併	入 入 入 入 入
			3 3	5 家	9 高入7

令和 年 月 分

公費負担者番号①	公費負担医療の受給者番号①
公費負担者番号②	公費負担医療の受給者番号②

保険者番号	10 9 8 7 ()
被保険者証・被保険者手帳等の記号・番号	

区分	精神 結核 療養	特記事項
氏名	1男 2女 1明 2大 3昭 4平 5令 . . 生	
職務上の事由	1 職務上 2 下船後3月以内 3 通勤災害	

保険医療機関の所在地及び名称

傷病名	(1) (2) (3)	診療開始日	(1) 年 月 日 (2) 年 月 日 (3) 年 月 日	転帰	治癒 死亡 中止	保険診療実日数	公費① 公費②	日
-----	-------------------	-------	-------------------------------------	----	----------	---------	------------	---

① 初診	時間外・休日・深夜	回	点	公費点数
⑬ 医学管理				
⑭ 在宅				
⑳ 投薬	㉑内服	単位		
	㉒屯服	単位		
	㉓外用	単位		
	㉔調剤	日		
	㉕麻毒基	日		
㉓ 注射	㉑皮下筋肉内	回		
	㉒静脈内	回		
	㉓その他	回		
㉔ 処置	薬剤	回		
㉕ 手術酔	薬剤	回		
㉖ 検病理	薬剤	回		
㉗ 画像診断	薬剤	回		
㉘ その他	薬剤			
㉙ 入院	入院年月日	年 月 日		
	病 診	⑩ 入院基本料・加算	点	
		× 日間		
		× 日間		
		⑪ 特定入院料・その他		

※高額療養費	円	※公費負担点数	点
⑰ 食事・生活環境	円 × 回	※公費負担点数	点
基準	円 × 回	基準(生)	円 × 回
特別	円 × 日	特別(生)	円 × 回
食堂	円 × 日	減・免・猶・I・II・3月起	
環境	円 × 日		
療養の給付	請求	円	※決定
公費①	円	円	円
公費②	円	円	円

診療報酬明細書（摘要欄続紙）

--	--